

氏名（ふりがな）：矢口 和宏（やぐち かずひろ）

英文表記：Kazuhiro Yaguchi

現職の所属・役職：敬愛大学経済学部教授

英文表記：Professor, Department of Economics, Keiai University

専門分野：経済政策論

主たる研究テーマ：都市、地域政策、震災復旧・復興政策のあり方

略歴（学歴・職歴）

1994年 慶應義塾大学経済学研究科修士課程修了 修士（経済学）

1994年 （株）ライフデザイン研究所入社（現 第一生命経済研究所）

1998年 慶應義塾大学経済学研究科博士課程単位修得退学

1999年 （株）ライフデザイン研究所退社

1999年～2003年 東北文化学園大学総合政策学部専任講師

2004年～2007年 東北文化学園大学総合政策学部助教授

2007年～2016年 東北文化学園大学総合政策学部准教授

2016年～2017年 東北文化学園大学総合政策学部教授

2017年～ 敬愛大学経済学部教授

2019年～ 敬愛大学経済学部経済学科長

主たる著書・論文等

- ・『東日本大震災から10年 再生・発展における課題の分析－経済分析とメンタルケアの視点から－』（廣野桂子・矢口和宏編著）、大成出版社、編集、第1章、第2章、第4章を担当、2020年
- ・「子ども施策の供給主体に関する検討とコミュニティの意義」（単著）『公共選択』、第69号、pp60-75、2018年1月
- ・『コミュニティの再生－経済と社会の潜在力を活かす－』（丸尾直美・宮垣元・矢口和宏編著）、中央経済社、編集と第4章を担当、2016年
- ・「不動産証券化が財務指標に与える影響」『日本経済の課題と今後の進路－経済政策の理論・実証分析－』（吉野直行・亀田圭吾・中東雅之・中田真佐男編著）、第14章、pp.131-149、慶應義塾大学出版局、2015年
- ・『ECOシティ』（丸尾直美・三橋博巳・廣野桂子・矢口和宏編著）、中央経済社、編集、第6章、第9章を担当、2010年